岐阜聖徳学園大学短期大学部（旧聖徳学園女子短期大学） 卒業生の皆様へ

盛夏の候、卒業生の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、岐阜聖徳学園大学短期大学部は、昭和41年（1966年）に創設され、本年度で創立60周年という大きな節目を迎えることとなりました。これまで本学は、生活学科（旧家政科）、幼児教育学科などを通じて、地域社会のニーズに応え、実践力のある人材を育成し続けてまいりました。卒業生は2万人を超え、それぞれの現場で多くの成果を挙げてこられました。皆様のご活躍と本学へのあたたかいご支援に、心より感謝申し上げます。

しかしながら、近年の少子化の進行、進学先の多様化、社会的ニーズの変化などにより、短期大学を取り巻く環境は厳しさを増しており、本学においても学生募集や教育体制の維持が困難な状況となっております。このため、平成27年度をもって生活学科を廃止いたしました。更に、一部及び三部構成であった幼児教育学科についても、学内で慎重な議論を重ねた結果、令和7年度（2026年3月末）をもって閉学することとなりました。このようなお知らせをしなければならないことは、まことに残念ではありますが、深いご理解を賜りますようお願い申し上げます。

一方で、本学が長年にわたり力を注いできた幼児教育の重要性は、今なお、そしてこれからも揺るぎないものであると私たちは確信しております。子どもの育ちを支える保育・初等教育の専門職の養成は、地域の未来を築く上でも不可欠であり、その使命は途絶えてはなりません。

そのような思いのもと、令和7年度（2025年度）より、岐阜聖徳学園大学 教育学部の「保育専修」を「保育初等教育専修」（定員30名増加）に改組し、短期大学部で培ってきた教育の理念と実践を継承・発展させてまいります。この新たな専修課程においては、幼児教育と初等教育の一体的な視野を持つ人材育成をめざし、大学ならではの学術的基盤の上に、実践的・体験的な学びを融合させてまいります。今後も本学園として、幼児教育に対する強い責任と情熱を持って取り組み続けてまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、創立60周年という節目と閉学という大きな転機を記念し、これまでの歩みを振り返り、卒業生や関係者の皆様と感謝の思いを共有するための記念行事を開催する予定です。詳細につきましては、ご案内申し上げますので、ぜひご参加いただければ幸いです。

岐阜聖徳学園大学短期大学部は閉学となりますが、今後とも卒業生の方々と大学とのつながりは潰えることはありません。卒業生の皆様は大学にとって大きな財産と考えております。今後の大学の発展をしっかりと見届けて頂くとともにご支援頂ければと思います。末筆ながら、卒業生の皆様のご健勝とさらなるご活躍を心よりお願い申し上げ、60年の歴史への感謝とともに、本学の新たな一歩に向けたご挨拶とさせていただきます。

令和7年（2025年）7月19日
岐阜聖徳学園大学短期大学部
学長 観山正見